

# 市長選挙の結果どう認識したか

## 引き続き市政運営を任せられた



櫻井 肇 議員

**Q** 市長演述で1月24日執行の花巻市長選挙において、大多数の市民から信任を得たとされているが

その根拠は何か。市長は全有権者の36・5%の支持を得たにすぎないと考えるが認識を伺う。  
**A(市長)** 平成18年の選挙と同様にマニフェストを掲げ、政策を訴えた結果、有権者からの支援を受け、引き続き市政運営のかじ取り役を任せられ

たものと考えている。  
**新体育館の建設**

**Q** 合併特例債を活用した17億円の新体育館建設は、市政の最優先課題と考えているのか。また、市民の理解と協力が得られていると考えるか。  
**A(まちづくり部長)** 体

育館の整備は、増加傾向にある施設利用への対応、競技スポーツの振興、市民の健康増進や大会誘致による地域活性化を図ることと、市内の企業が生産している製品を極力活用するなど緊急経済対策への効果もあると判断し7月の臨時議会で決定されたものである。市民との協働では、設計段階から意見交換を実施しており、今後も意見をもらいながら進める。



新体育館は、総合体育館に隣接して建設される予定です

# 「空の駅」の整備の検討を「交流」をキーワードに検討



小雨の中、大勢の人たちが訪れた「いわて花巻空港スカイフェスタ2009」(9/23)



近村 晴男 議員 (花巻クラブ)

**Q** いわて花巻空港旧ターミナルビルの活用については、広域観光圏の核施設としての交流、

物的交流の場とする仮称「空の駅」としての整備の方向を検討してはどうか伺う。  
**A(政策推進部長)** 旧ターミナルビルの活用については、市の人口重心に位置する条件を生かし、「交流」をキーワードに据えて、利用策を検討し

ている。決定に当たっては、広く市民の意見を聞き、提案の広域観光圏の核施設の位置づけについても参考としていく。  
**人材誘致型の学科を**

からの提案は尊重するとしていますが、早池峰の自然と文化というたぐいまれな地域の特性を生かした人材誘致型の学科を小規模校に新設する案を取りまとめるべきではないか。  
**A(教育長)** 県教育委員会では、平成22年度に、ブロックごとに地域住民との意見交換の場を設けるが、市として生徒数の減少を現実として受け止めつつ、地域の実情を含め意見を述べていく。

# 米戸別事業の不耕作地の認定は

## 改善計画の提出と認定が要件



平賀 守 議員 (明和会)

**Q** 米戸別所得補償モデル事業に係る不耕作地へ

の対応について、農地は財産で、これを守ることが集落機能の強化につながるかと考えるが、調整水田(※)等の不作付地を認定できないか伺う。  
**A(農林水産部長)** 米戸別所得補償モデル事業で

は、調整水田等の不作付地により生産数量目標を達成する農業者は、その改善計画を市町村に提出し認定を受けることが、制度への加入交付要件とされている。  
**湯のまちホット交流**

**Q** 平成22年3月で老人福祉センターを廃止し、その代用として湯のまちホット交流サービス事業を実施することのだがその内容について伺う。  
**A(生活福祉部長)** 対象者は65歳以上の市民で、5人以上の申し込みが条件となっている。市内の16温泉施設で平日の午前10時から午後3時までの間、無料で入浴および休憩施設が利用できるが、送迎については有料の施設もある。今後、利用できる施設や内容などを全戸配布し周知していく。

# 議会運営委員会

視察日：平成22年2月2日～4日  
視察先：京都府京丹後市 兵庫県宝塚市

## 基本条例の実効性確保に努力

～京丹後市～

京丹後市議会では、平成20年に京丹後市議会基本条例を施行し、二元代表制における議会の役割市民に開かれた議会のあり方、市長の政策形成過程の説明などを規定し、条例の実効性の確保のため、各議員が努力しているとのことでした。具体的には、新聞折り込みでの全戸配布による一般質問のお知らせ、毎定例会終了後に議会報告会の開催、自由討議を深めるための全員協議会の活用など議会各般にわ

## と開かれた議会に

～宝塚市～

宝塚市議会では、平成9年から地方分権対応型の議会運営に取り組んでいました。委員会記録の公開、一般質問等の対面式の導入、一問一答・総括方式選択の導入などです。現在、議員・議会の品格や資質を高めようと「議会改革特別委員会」を設置し、議会基本条例、議会活性化、政治倫理・資産公開の3部会で調査・検討を進めており、調整機能として委員会に理事會を設置していただきました。また、議場を使ったコンサートの実施など市民に開かれた議会を目指していることがうかがえ参考となりました。



米戸別所得補償モデル事業は、米の生産数量目標に従って生産する農業者に対して、主食用米の作付面積に応じた額を交付するものです

※「調整水田」=水を張ることにより常に水稻の生産力が維持される状態に管理はするが作付けをしないこととした水田



議会基本条例、議会活性化、政治倫理・資産公開について検討する議会改革特別委員会について説明を受けました(宝塚市)

本市議会においても、議会基本条例の制定に当たっては、市民にわかりやすく市民とともに歩む議会として取り組んでいかねければならないと改めて感じました。  
(委員長 川村伸浩)